ムサシノモデル製品情報

平成 28 年 3 月 16 日

TYPE１　ＤＤ４１　フェーザー（翼）マーク　アイボリーと赤の塗り分け
TYPE２　ＤＤ４１　フェーザー（翼）マーク　銀と赤の塗り分け
TYPE３　ＤＤ９０　ぶどう２号イエローライン
TYPE４　ＤＤ９０　金太郎塗り分け

TYPE１ａ　ＤＤ１２　**ＵＳ　Ａｒｍｙ黒塗色バージョン８５８６、８５８８**
TYPE１ｂ　ＤＤ１２　**ＵＳ　Ａｒｍｙ黒と銀塗色バージョン８５８７**
TYPE２　ＤＤ１２　**旧標準塗装　ぶどう色２号に黄色帯　２，５号機**
TYPE３　ＤＤ１２　**新標準塗装（グレイ、オレンジ、ホワイト）３，４号機**
TYPE４　ＤＤ１２　**新標準塗装（グレイ、オレンジ、ホワイト）１号機**

予約受付中　２０１６年４月発売予定

今度の企画はＤＤ５１から一変してマイナー、ゲテモノ、異端児、進駐軍、ド派手がキーワード。一つは東芝が１９５４年７月に製造したＤＤ４１。一般に国鉄試作機関車と呼ばれるグループの一員。当店では今までにＤＤ４２、ＤＤ９１、ＤＦ９０を発売してまいりました。今回のＤＤ４１、アイボリーと赤（深紅）の塗り分けでボンネットに大きなフェーザー（翼）マークのカラースキムで今見ても度胆を抜かれるド派手な出で立ちで登場しました**(タイプ１)**。

更に少し手を加えられ１９５６年５月国鉄に借り入れられ大宮で９６００やＤ５１に囲まれて使用されるようになると白から銀へと色が変更され銀と赤の塗り分けとなります**(タイプ２)**。

１９５８年１１月、晴れて国鉄からお買い上げとなりしばらくすると今度はディーゼル機関車標準色、ぶどう２号とイエローラインの塗り分けとなりました。１９６２年ＤＤ９０へと形式変更後少し後屋根にランニングボードが取り付けられそれに伴い手摺りが増設され又ボンネットのキャブ寄りランボード上に大きなハッチが二つ取り付けられた事によりその上のボンネット部分に雨樋が設置されディテール的には最終形態となっています**（タイプ３）**。

この後（１９６４～１９６５年頃？）新しいディーゼル機関車標準色オレンジ、グレー、ホワイトを使用したキャブ前面、ボンネット側共愛嬌のある金太郎の塗り分になりました（**タイプ４**）。廃車は意外と長生きして１９７５年です。

当店得意の「マイナーな車輌をスーパーフルディテールで製作する」と云うパターンにより、国鉄の制式機同様の追求度で製品化致しました。大きな運転室はフル・キャブインテリア付となります。タイプ３ぶどう色２号塗色バージョンではキャブ側窓を全開した姿で製作致しましたので作り込まれたキャブ内を存分に楽しむ事ができます。全体のプロポーションも実機資料を元に台車等も含め完璧です。又翼マーク、金太郎塗りの塗色、塗装も艶具合、発色、色味、塗り分けラインの切れ味とこのモデルに独特の風格と美しさを与えてくれています。

二つ目は**ＤＤ１２**、言わずと知れた戦後直ぐアメリカ進駐軍が持ち込んだＧＥ製４７ｔ電気式ディーゼル機関車です。日本でまともに使用する事が出来たディーゼル機関車は実にＤＤ１２が最初でそれ以前の試作的ディーゼル機関車はどれもまともに走らず使い物にならなかったと云う歴史があります。後にＤＤ１１登場後国鉄に編入されたのでＤＤ１２とナンバリングされています。

ＵＳ　Ａｒｍｙ時代は東京、横浜を中心にＢ６等と同じ使われ方をしたと推測されます。山手線内での写真や汐留から築地への引き込み線で活躍する様子が伺えます。ＤＤ１２となってからは後続部隊ＤＤ１３の大量増備により横須賀線を中心としたエリアでの使用となり久里浜機関支区を根城としています。ＥＤ１７－２４号機との２ショット等は多くの２軸貨車と共に中々魅力溢れる一コマです。ただ１９６０年代半ばまで山手線管内でも使用されていました。このモデルもプロポーションを正確に再現。アメリカ製らしい小さいながらまったりとした重量感（Ｍ４シャーマンみたいな）を持ったモデルとなっています。キャブ・インテリアは中央にセットされたモーターを被うような形でフル・キャブインテリアを再現致しました。タイプは５バージョンとなります。

さすがに進駐軍が戦後直ぐ持ち込んだスタイルではなく国鉄への編入直前１９５０年代半ば頃を再現模型化致しました。ＵＳ　Ａｒｍｙ黒一色のもの（**タイプ１a**）と黒銀の塗り分けのもの（**タイプ１b**）二つを用意致しました。共にランボードはグレイ塗色。

８輌あった同型機の内５輌が国鉄、２輌が名鉄、１輌が八幡製鉄所に編入されています。国鉄籍編入後ＤＤ１２となって旧ディーゼル標準色のぶどう色２号に黄色帯をあしらった２，５号機（**タイプ２**）

更に国鉄ディーゼル機関車、新標準塗装（グレイ、オレンジ、ホワイト）となりＡＴＳアンテナ取り付け、開放テコ受けが長いタイプに変更されてからの姿で形態の違いにより３，４号機（タイプ３）、１号機（タイプ４）を作り分け致します。廃車は１９７２（昭和４７）年７月となっています。

ＤＤ４１／９０、ＤＤ１２を製品化するに当たり模型として最も重要な点、走りの質に対するこだわり・・・・・、残念ながら今の時代、このクラスの価格帯のモデルに１個７０００円～８０００円もする小型強力なコアレスモーターを搭載する事は大変難しいと云わざるをえません。しかし当店では敢えてシチズンマイクロ製１３２０ｗコアレスモーターを搭載。フライホイール取付効果、軸バネ可動イコライジング、全軸集電（集電ブラシにベリリウム銅を使用）と相まって低速走行から実感的な抜群の走りを実現しております。

キリトリ線

＜お　客　様　ご　注　文　書＞

ご注文年月日　　年　　月　　日

ご氏名　　郵便番号　　-

ご住所

電話番号　　ＦＡＸ番号

メールアドレス

製　　品　　名	本体価格	注文数
TYPE１　ＤＤ４１　フェーザー（翼）マーク　アイボリーと赤の塗り分け	¥117,000	
TYPE２　ＤＤ４１　フェーザー（翼）マーク　銀と赤の塗り分け	¥117,000	
TYPE３　ＤＤ９０　ぶどう２号イエローライン	¥115,000	
TYPE４　ＤＤ９０　金太郎塗り分け	¥117,000	
TYPE１a　ＤＤ１２　ＵＳ　Ａｒｍｙ黒一色バージョン　８５８６、８５８８	¥115,000	
TYPE１b　ＤＤ１２　ＵＳ　Ａｒｍｙ黒と銀塗色バージョン　８５８７	¥116,000	
TYPE２　ＤＤ１２　旧標準塗装　ぶどう色２号に黄色帯　　２，５号機	¥115,000	
TYPE３　ＤＤ１２　新標準塗装（グレイ、オレンジ、ホワイト）３，４号機	¥117,000	
TYPE４　ＤＤ１２　新標準塗装（グレイ、オレンジ、ホワイト）１号機	¥117,000	

有限会社 ムサシノモデル
〒174-0053　東京都板橋区清水町７３－１　HOMEPAGE http://www.musashino-m.co.jp
TEL 03(3961)5666　FAX 03(3961)0317　E-MAIL order@musashino-m.co.jp